

年間授業計画

福生 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

科目担当者：（1～7組：三浦）

使用教科書：（ 詳説世界史【山川出版社】 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界と日本の歴史を関連付けながら理解しているとともに、諸資料から現代の世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	人類の誕生に始まる世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	文明の成立と古代文明の特質① 【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. 人類の誕生 2. 文明の誕生 3. 古代オリエント文明とその周辺 4. 南アジアの古代文明 5. 中国の古代文明 6. 南北アメリカ文明	【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	文明の成立と古代文明の特質② 【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	4. 南アジアの古代文明 5. 中国の古代文明 6. 南北アメリカ文明	【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	東～南アジア世界の展開① 【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりを多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. 中央ユーラシア 草原とオアシスの世界 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成	【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 東～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13

2 学 期	定期考査			○	○		1
	東西～南アジア世界の展開② 【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりをもとに、古代アジア世界の広がりをもとに、多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東西～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	5. 仏教の成立と南アジアの統一国家 6. インド古典文化とヒンドゥー教の定着 7. 東南アジア世界の形成と展開 8. イラン諸国家の興亡とイラン文明	【知識及び技能】 古代中国の統一国家の支配体制について、前後の時代と比較したうえで理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』などの資料をもとに、古代アジア世界の広がりをもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 東西～南アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 ギリシア・ローマにおいてどのような経緯で政治的な発展がみられたのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地中海周辺の国家形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	1. ギリシア人の都市国家 2. ローマと地中海支配 3. キリスト教の成立と発展	【知識及び技能】 ギリシア・ローマにおいてどのような経緯で政治的な発展がみられたのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地中海周辺の国家形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計
							70